



ぎかい

懸橋 だより

かけはし



も
く
じ

- 6月定例会（議案審議） P 2
- 議会選出一部事務組合議会議員派遣報告 P 5
- 行政報告（町地域防災計画修正） P 6
- ここが聞きたい一般質問：6人 P 7
- 議員全員協議会 P14

**「未来へつなぐ
祝いの虎舞」**

**～ オリンピック
聖火リレー会場 ～**

（写真提供：議会広報編集調査特別委員）



6月定例会

令和3年第2回定例会は、6月3日から9日までの7日間の会期予定で開かれましたが、8日に議案審議が終了し閉会となりました。

町教育委員会委員の任命同意のほか条例の一部改正、令和3年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算などを審議しました。報告2件、専決処分の承認5件、議案11件の全18件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

▼ 議案審議一覽 6月8日(火) 全て原案可決

報告第2号	専決処分の報告について（自動車事故に係る損害賠償の額の決定について）
報告第3号	令和2年度おいらせ町一般会計繰越明許費繰越計算書について
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（おいらせ町町税条例等の一部を改正する条例について）
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（おいらせ町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について）
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（おいらせ町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について）
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度おいらせ町一般会計補正予算（第13号）について）
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度おいらせ町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）について）
議案第38号	おいらせ町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第39号	おいらせ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
議案第40号	おいらせ町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第41号	おいらせ町介護保険条例の一部を改正する条例について
議案第42号	おいらせ町保健福祉センター条例の一部を改正する条例について
議案第43号	おいらせ町老人福祉センター条例の一部を改正する条例について
議案第44号	おいらせ町公民館条例の一部を改正する条例について
議案第45号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更に ついて
議案第46号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更に ついて
議案第47号	令和3年度おいらせ町一般会計補正予算（第1号）について
議案第48号	令和3年度おいらせ町病院事業会計補正予算（第1号）について

発議第2号

議会会議規則の一部改正について

○欠席届出事由の追加

議員は、公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由のため出席できないときはその理由を付し届け出る。また、出産については産前・産後の欠席期間を規定する。

○請願書の記載事項に係る簡略化

請願者の利便性の向上を図るため、自署している場合は押印を不要とする。

任期満了に伴い、新しく加賀真美子氏を任命することに同意しました。

任期は令和3年6月9日から4年間となります。



加賀真美子氏
(錦ヶ丘)

議案第38号

教育委員会委員が決まりました

人事案件

報告第2号

○業務委託業者の運転する町所有車両が相手方に接触し、賠償額が確定したため専決処分した。

損害賠償額は約30万7千円。



報告第3号

○令和2年度的一般会計予算のうち、18事業の約4億4,277万円を令和3年度へ繰り越した。

議案第39号

○新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の国民健康保険税の減免を引き続き令和3年度も実施する。

議案第40号

○新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正により国民健康保険条例の一部を改正する。

議案第41号

○介護保険第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の納期限を令和4年3月31日まで1年間延長する。

議案第42・43・44号

○町保健福祉センター・町老人福祉センター及び町立北公民館に冷房設備を設置したため、使用料を改正する。条例改正後の冷暖房使用料

1時間100円
※北公民館講堂・冷暖房使用料
1時間420円



議案第47号

○令和3年度一般会計補正予算
【新型コロナウイルス感染症対策事業】

- ・ワクチン接種実施委託料
- ・新しい生活様式対応 推進助成金
- ・スクールバスの更新費用



注目!

4ページの補正予算に
詳細情報を掲載

6月の主な 議案審議



【議案第47号】一般会計補正予算

問 澤上勝議員

農産物プレミアム販売事業について、販売数を前年度と同じとした経緯は。

答 農協と連携し実施する事業であり、農協との協議で数量増加は難しいとのこと。その結果、1セット3千円で700セットを販売する予定となった。

なお、販売する商品は農家と農協の契約となり、今後収穫される。



問 松林義光議員

ワクチン接種について、学校や保育園等の先生方へ先行接種する考えは。

答 町独自の方策を協議し、今後、検討して進めたいと考えている。



問 平野敏彦議員

ワクチン集団接種実施の周知が遅れた理由は。

答 国の方針が日々変化し、当町の配布ワクチン数量が増えたことによって、早急な対応が必要となり集団接種とした。報告が遅れたことは申し訳ない。

委員の選任

令和3年6月3日から令和5年4月30日までの任期で議会運営委員会及び各常任委員会の委員が選任されました。

議会運営委員会

- ◎松林義光
- ◎西館芳信
- ◎沼端務
- ◎木澤村忠一
- ◎柏頭好孝

総務文教常任委員会

- ◎澤上訓
- ◎馬場正治
- ◎柏崎利信
- ◎吉村和子
- ◎西館芳信
- ◎木村忠一

産業民生常任委員会

- ◎平野敏彦
- ◎西館秀雄
- ◎田澤中
- ◎正好一
- ◎澤上勝
- ◎松林義
- ◎沼端務
- ◎佐々木勝

議会改革特別委員会

町議会の活動における様々な課題への対応や議会改革に関する事項を調査研究する目的で設置しました。

議員全員で構成された委員会です。去る5月12日第1回委員会を開催し、今後の進め方について協議しました。

- ◎西館芳信
- ◎柏崎利信





令和3年度

6月の主な一般会計 補正予算 (第1号)

歳入歳出予算の総額に2億7,458万円を増額し、予算の総額は、101億9,958万円としました。

定住促進助成金	コロナウイルス対策支援事業費補助金	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金	ワクチン接種協力金
全町を対象とした助成金 (令和2年度末終了、経過措置期間)の申請見込みによる増額 補正額 1,300万円 補正後 2,300万円 	【コロナ対策事業】 事業所(保育園・児童センター)等が感染防止対策のための物品購入等に係る費用を助成 新設 補正額 950万円 	【コロナ対策事業】 低所得のふたり親子育て世帯の18歳未満の子ども一人当たり5万円給付 ※ひとり親世帯は県が給付 新設 補正額 2,040万円 	【コロナ対策事業】 コロナワクチン接種の円滑な実施と経営支援のための町内医療機関に対する支援金 新設 補正額 1,007万円 
ワクチン接種実施委託料	ワクチン接種体制確保委託料	農産物プレミアム販売事業費補助金	担い手確保・経営強化支援事業費補助金
【コロナ対策事業】 21,500人、2回接種分 新設 補正額 9,563万円 	【コロナ対策事業】 接種体制を構築するための委託料 新設 補正額 1,700万円 	【コロナ対策事業】 農作物消費拡大及び地域の経済対策を図るため、農協と連携し農産物をプレミアム付きで販売するための補助金 新設 補正額 54万円 	意欲ある担い手を育成するための農業用機械等の購入費補助金 (県1/2・本人1/2) 新設 補正額 559万円 
水産物プレミアム販売事業費補助金	町商工会プレミアム付飲食券発行事業費補助金	新しい生活様式対応推進助成金	機械器具費(公用車)
【コロナ対策事業】 水産物消費拡大及び地域の経済対策を図るため、漁協と連携しホッキ貝をプレミアム付きで販売するための補助金 新設 補正額 140万円 	【コロナ対策事業】 町商工会が販売するプレミアム付飲食券の販売補助金 新設 補正額 850万円 	【コロナ対策事業】 売上減少小規模企業者へ感染拡大防止等の整備に対する助成金 (250者・上限10万円) 新設 補正額 2,500万円 感染症拡大防止にご協力ください 	【コロナ対策事業】 換気機能等を強化したスクールバスを2台購入 新設 補正額 4,739万円 

定例会 補正予算

令和3年度 特別会計			
特別会計	補正総額	補正後予算総額	歳出の主な内容
病院事業会計(第1号)	850万円	10億6,552万円	コロナウイルスに係る特殊勤務手当等

※千円の位を四捨五入しています。

議会選出一部事務組合議会議員による派遣報告

私たちの生活に関わりがある各広域事務組合に派遣された議員4人から、6月定例会において令和2年度の事業報告がありました。概要は下記のとおりです。

八戸地域広域市町村圏事務組合

派遣議員 澤上 勝



消防・介護福祉等に関する業務を行っている一部事務組合

会計報告

令和3年度当初予算
歳入歳出73億1千万円
(前年比4.2%減)
町分担・負担金
3億5,504万円
(負担額5.6%)

【同組合消防本部へ口頭要望】

- おいらせ消防北分遣所の消火・救急体制拡充
- 北分遣所の存在感の構築
- 広域介護認定の早急対応



十和田地域広域事務組合

派遣議員 佐々木 勝



ごみ焼却施設・火葬、及びし尿に関する業務を行っている一部事務組合

清掃特別会計報告

令和3年度当初予算
歳入歳出10億987万円
(前年比1.04%)
町負担金1億8,659万円
(負担額18.5%)



【業務報告】

し尿収集(くみ取り)料金改定
近年下水道等の普及により、人件費・車両等の経費が増加し、事業継続が困難となったため7月1日から値上げした。100%当たり970円。(税抜)



十和田地区環境整備事務組合

派遣議員 日野口 和子



し尿等処理施設の運営等に関する業務を行っている一部事務組合

令和3年第1回定例会報告
(令和3年2月22日開催)

【業務報告】

- 議案4件は、質疑、討論なく原案どおり可決した。
- 令和3年3月31日をもって解散し、当事務組合の業務は、十和田地域広域事務組合へ承継する。

○解散に伴い組合議会議員派遣も終了した。



上北地方教育・福祉事務組合

派遣議員 吉村 敏文



知的障害者施設等の施設設置、管理及び運営に関する事務組合

会計報告

令和3年度当初予算
歳入歳出7億4,469万円
(前年比8.09%の減)
町分担金 3,151万円

【業務報告】

- 施設ごとに業務体制を工夫し、利用者・職員の安全安心のため感染防止対策を継続していく。

- 上北視聴覚ライブラリーの人件費を会計年度任用職員で対応する。
- 公立ぎんなん寮利用者の高齢化等の現状を踏まえ、支援体制を見直し検討する。



チェック!!

【一部事務組合派遣報告】

市町村がそれぞれの行政区域を越えて共同で事務事業を実施し、様々な行政サービスを効率的・効果的に行う目的で設置された。
組合に派遣した当町議員が、事業報告し活動内容を共有するもの。

行政報告

ピックアップ



町地域防災計画の修正

町地域防災計画の性格

町地域防災計画とは災害対策基本法に基づく町の防災に関する基本計画。作成・修正は、同法及び町執行機関の附属機関の設置等に関する条例に基づき設置される防災関係機関の代表等で構成する町防災会議が行う。

なお、国の防災基本計画、県の地域防災計画及び指定行政機関等の防災業務計画と整合性をもたせる。

町地域防災計画の構成

第1編 風水害等災害対策編

- ・災害予防計画
- ・災害応急対策計画
- ・雪害対策、火山災害対策、事故災害対策計画
- ・災害復旧対策計画

第2編 地震・津波災害対策編

- ・災害予防計画
- ・災害応急対策計画
- ・災害復旧対策計画
- ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画

全613ページ

(本編454ページ、資料編159ページ)

修正内容の概要

- 明神川洪水浸水最大想定更新に基づく見直し(令和2年6月、県公表に基づき修正)



【明神川洪水浸水想定新旧比較】

指標	新	旧
規模	千年に一度程度	30年に一度程度
雨量	24時間で529mm	24時間で197mm

【明神川洪水時の避難区域を修正(下線部)】

全域対象区域 5区域	本町5~6丁目、 <u>七軒町</u> 、 <u>下前田</u> 、 <u>いちよう団地</u>
一部対象区域 16区域	<u>中野平</u> 、 <u>秋堂</u> 、 <u>向坂</u> 、 <u>苗振谷地</u> 、 <u>上新町</u> 、 <u>八幡町</u> 、 <u>本町4丁目</u> 、 <u>肴町</u> 、 <u>大工町</u> 、 <u>新町</u> 、 <u>藤ヶ森</u> 、 <u>根岸</u> 、 <u>日ヶ久保</u> 、 <u>明神下</u> 、 <u>堀切川</u> 、 <u>川口</u>

【明神川洪水時の避難場所を修正(下線部)】

- 洪水時避難場所
百石中学校、いちよう公園体育館、いちよう公園交流館
- 緊急時の避難施設
百石小学校、百石高等学校
- 新たな指定緊急避難場所
聖福寺 寶樓閣(阿光坊)
- 国県ガイドライン改正内容を反映
避難所における新型コロナウイルス感染症対策等を追加



今後の計画修正予定

- ・令和3年度 県津波浸水想定図更新を踏まえ、町津波避難対策の見直し作業
- ・令和4年度 町地域防災計画の修正作業

令和3年第3回 総務文教常任委員会

令和3年5月20日開催 委員長 平野敏彦

案件1. (仮称)財政健全化条例案

【概要】

将来にわたる持続可能な財政基盤の強化と健全な財政運営を確立するため、町の基本的な財政運営ルールを定めた条例制定を予定

【スケジュール】

- ・令和3年8月 議員全員協議会への説明
- ・令和3年9月 第3回町議会定例会上程





ここが聞きたい

一般質問

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を見直し、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ

(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>) で閲覧できます。

また、本庁舎議場で傍聴することもできます。

よりよいまちづくりのために



ページ	議員（質問順）	主な質問項目
8	なら やま ただし 議員 橋 山 忠	<ul style="list-style-type: none"> ・下田公園内の記念樹及び間木堤の管理体制を問う ・新発表の津波予想24mの対策を問う
9	さわ かみ さとし 議員 澤 上 訓	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策は ・新型コロナウイルスワクチンの接種は
10	ば ば まさ はる 議員 馬 場 正 治	<ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道や通学路の整備に関する「町民の声」への対応は ・スクールバスの運行について問う ・高校生の医療費無料化について問う
11	にし だて よし のぶ 議員 西 館 芳 信	<ul style="list-style-type: none"> ・現病院の位置的課題（奥入瀬川直近）について問う ・病院の新築移転について問う
12	さわ がみ まさる 議員 澤 上 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種について問う ・成人式の中止について問う ・小中学校の運動会の平日開催について問う
13	ひら の とし ひこ 議員 平 野 敏 彦	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の安全点検は ・青森県津波浸水区域の見直しは ・町の障害者雇用は

新しい津波想定24m!

浸水状況と避難対策の変更は



なら やま 榎山 忠 議員

下田公園内の記念樹及び
間木堤の管理体制を問う

問 下田公園内の寄贈された
記念樹の管理体制は。

答 合併10周年記念事業により、東京おいらせ会から寄贈されたしだれ桜は薬剤散布を実施しているが育成状況が悪いため改善に努めていく。なお、会員が帰省する際は草刈りを行い整備された環境でお迎える。

また、経年劣化した記念樹銘板は順次表示シールを更新していく。

問 公園内の記念樹の管理台帳の活用方法は。管理台帳がなければ、作成し管理する考えはないか。

答 現在複数課で保管されている記念樹の記録について、一括管理する台帳の作成を進めていく。

問 間木堤の護岸強度維持と景観保持のため自生樹木を伐採する考えはないか。

答 今年度、植栽管理業務の委託作業を行う予定で、実施時期等を言明関係業者等と調整していく。

新発表の津波予想
24mの対策を問う

問 明神山の避難タワー浸水状況をどのように想定しているのか。

答 防災集会で説明した津波浸水想定と県公表の捉える地点が異なるため、約3mの誤差が生じたが同じ地点での最大津波高は変わらない想定である。

問 津波到達時間は約51分と変わらないと思うが、その間に川口地区住民を安全に避難させる対策は出来ているのか。

答 最大津波の数値は平成24年公表と同じで、最大津波に対する避難対策も現津波避難計画が基本となる。ただし、第1波の津波想定は、到着時間が約35分後、津波高が約12mとなっている。川口地区を始めとした浸水想定区域の避難対策について作業を進めている。

第1波
津波到達は
約35分
早めの避難を



問 百石本町地区の浸水状況と、一時避難所としている百石高校、百石小学校、桃川ビル、分庁舎、高速道路等への避難をどのように考えているのか。

答 津波ハザードマップ上では場所にもよるが5mから10m未満の浸水を想定。一時避難場所は、津波到達時に浸水区域以外へ避難が困難な方が命を守るために一時的に緊急避難する場所としている。

問 津波浸水の恐れがある百石・木内々小学校児童への授業中と登下校時の避難対策は。また、指導状況並びに避難場所は。

答 学校ごとに危機管理マニュアルを作成し、地震・津波を想定した全校での避難訓練を実施し対策を講じている。また、地震が起きた時の危険箇所の確認、津波時の取るべき行動等を見守り・生徒に指導している。

なお、登下校中の避難は、原則として自宅か学校のどちらか安全で近い方へ避難するように指導している。

問 明神山避難タワーを防災教育の場として、どのように活用しているのか。

また、町内各校の児童・生徒に修学中一度は体験学習を義務化する考えはないか。

答 災害に備える授業等の郊外学習として、明神山避難タワーを活用している。

また、体験学習は、各学校の教育課程の範囲内で継続して実施するようお願いしている。



▲24mの津波でも避難スペースまで浸水しない明神山避難タワー

問 新防災安全マップの発行はいつか。

答 今年度に津波避難対策の見直しを行い、その内容を反映した津波ハザードマップを来年度に発行する予定。



今後の新型コロナウイルス感染拡大防止と 予防接種の具体的な計画は



さわ かみ
澤上

さとし
訓 議員

新型コロナウイルス 感染症対策は

問 昨年度から現在までの当町における新型コロナウイルス感染者数は。

答 公表は県の基準で定められ、当町は三戸地方保健所管内に含まれ、当町に限定した感染者数は承知していない。

なお、県において5月30日時点の累計で、当町は11人から50人の該当区分と公表している。

問 コロナの陽性反応が出た方は、入院、ホテル等での療養、自宅療養などに振り分けられると思うが内訳は。

答 県がホームページで公表しているのは、5月26日現在の累計感染者総数は2,263名で、入院が81名、うち重傷4名、宿泊療養中60名、自宅療養中93名、入院等調整中79名となっている。



問 マスクミ等で報じられているコロナ禍の中で死に至った方々の多くは、自宅療養の方である。当町で自宅療養となった方へのフォロー体制は。

答 県が宿泊療養・自宅療養を求め、必要に応じて食事の提供、日用品の支給、その他日常生活を営むために必要なサービスや物品の支給等を行っている。

また、必要に応じて市町村と連携することになっているが、現在まで協力要請を受けた事例はない。

問 高校のクラスターが、県南地方にも徐々に増えてきている。このままだと当町でいつ発生してもおかしくない状況にあるが町長の見解は。

答 いつ、どこで、どのように感染するかわからない状況の中で、感染が爆発的に拡大すれば、地域医療の崩壊が現実味を帯びることが予想され心配している。

当町としても、国や県が進める感染防止対策と迅速なワクチン接種対応を講じて、一日も早い収束に向かうよう対応していく。

問 コロナ禍における体育館やトレーニング室等での対策や対応は十分か。

答 当町の体育施設では、マスクの着用、手洗い・手指の消毒、3密回避、定期的な換気、利用者名簿の提出、使用後の消毒、体温・体調チェックの徹底をお願いしている。

また、トレーニングルームにおいては、事前予約制とし、入室人数を3人までに制限し、エアロバイクやランニングマシンも一部使用禁止として3密回避に努めている。



▲入室制限の事前予約制のトレーニングルーム

問 今後、感染拡大をさせないための具体的な施策や方法は。

答 国や県が示したガイドラインと感染防止に関する周知やPR等、町民の安全安心のため取り組んでいく。

新型コロナウイルス ワクチンの接種は

問 75歳以上の接種が始まったようだが、電話がつながらない問題があったと聞いている。もう少し高齢者への優しさを考えてほしい。75歳未満の方に対しては、担当課で手法を変え迷惑をかけないようになりたいとのことだが、その手法は。

答 皆様にご不便、ご迷惑をおかけしお詫びを申し上げます。74歳以下の皆様には、1歳刻みに発送日の間隔を空けて送付し、電話予約が集中しないように対応していきます。

問 今後は、若い世代へと移っていくことになると思うが、計画を具体的に分かりやすく説明してほしい。

答 7月末までには、高齢者の70%が2回接種を終了する見込み。64歳以下の接種は、今後の予約状況や接種状況を見て、優先接種対象者の基礎疾患を有する方の先行予約から順次行っていきます。





ば ば まさはる
馬場 正治 議員

通学路の指定と事故防止対策を早急に

横断歩道や通学路の整備
に関する「町民の声」への
対応は

問 昨年10月と今年2月の、北部地区の歩道や通学路の整備に関する町民からの投稿に対する町の対応は。

答 昨年10月の「町民の声」は、おいらせ消防署北分遣所の向かいへの大型スーパー出店に伴い交通量が増え、また小中学生の通学ルートでもあり、歩道や街路灯の整備の必要性を投稿いただいた。

歩道整備は、主要地方道三沢十和田線の歩道が無い区間について県と協議した結果、今年度の県単独事業へ要望する。地域における街路灯は地元町内会を通じての設置申請が基本のため相談するよう促したが、現在、申請はない。

また、今年2月の「町民の声」では、「通学路の歩道整備を真剣に考えてほしい」と題し、横断歩道付近の暗い所への街路灯整備や、歩道、通学路の安全対策について投稿いただいた。その後、通学道路上にある横断歩道2箇所街路灯の新設及び修繕を実施した。



▲開店した大型スーパーの出入口

問 町では現在通学路を指定していないが、小中学生が登下校する通学路を指定し安全対策を講ずることと事故を減らすことができると思うが、通学路を指定する考えはないか。

答 これまでは通学路を指定しなくても、子どもたちが利用する道路に対して安全対策を講じてきたが、今後は各学校の先生方や関係者の意見も参考にして通学路の指定を検討したい。



一般質問

問 1月の中学生死亡事故は、生徒が明るい蛍光色の上着を着ていたら、トラック運転手はかなり手前で気が付いて事故を防ぐことができたかもしれないと思うが、教育長の考えは。

答 詳しい事故状況は分からないが、そのような場合、確かに事故は防げたかもしれないと私も感じている。



▲中学生が死亡した交差点

問 町通学路安全推進協議会に中学校、PTA関係者、地区の町内会長等が入っていないが、今後見直す考えはないか。

答 当協議会の構成員ではないが、意見や要望、改善点を伺い、安全対策に反映させていきたい。

スクールバスの

運行について問う

問 小中学校のPTAや教員らと話し合い、運行方法や運行内容を見直す考えはないか。

答 現在の運行内容は、2町合併により通学区域の変更が行われ、通学距離が4km以上を送迎の対象としている。そのため、現在の運行内容を見直す継続したいと考えている。



高校生の医療費

無料化について問う

問 今年度内に高校生の医療費無料化を提案する考えはないか。

答 県に対して町が負担している小中学生の医療費への補助を要望しており、その動向を見ながら総合的に判断していきたい。



防災・利便性から 国保おいらせ病院の新築移転に対する考えは

にし だて よし のぶ
西館 芳信 議員



▲おいらせ病院

**現病院の位置的課題
(奥入瀬川直近)
について問う**

問 津波、洪水が発生すれば3〜5mの冠水が予想される場所に病人などの要医療・看護者である心身の弱者が「3・11東日本大震災」の教訓が何ら活かされないまま、留め置かれる現状は、とても尋常と思えない。早急な課題解決に向け、動く時期と思うが町長の見解は。

答 病院は津波及び洪水の浸水想定区域内にあり、安全確保に課題があると認識している。

問 現病院は町の最南端の位置にあり、利用者の利便性が低い。加えて敷地は起伏があり駐車場も狭く、見通しが効かない幸運橋の出入り口が間口となり、交通安全上も大きな問題をかかえている。一刻も早い改善を考えているか。

答 平成18年の合併により行政区域が拡大したことで、立地的偏りがあることは事実で、病院に要する距離や時間から不便に感じている町民がいることも考えられる。車社会の進展により、バスの利用者が減少するなど地域社会、経済に影響を及ぼし、結果的に利便性や有効性が損なわれ、立地環境についても、時代の要請に合わなくなったと考えられる。

まずは、自治体病院としての使命と役割を果たすことが重要であると認識する。

今後、病院の在り方を検討する際は、安全性や利便性等を含め総合的に考えたい。



一般質問



▲病院位置図



▲病院駐車場

**病院の
新築移転について問う**

問 病院の新築移転に向け町民が病院にどんな思いを抱いているのかを集約するアンケートを実施する予定は。

答 国、県が進める地域医療構想にも影響するので、まずは病院内部での協議や審議会等から意見を伺いながら、慎重に判断していきたい。

問 町長は庁舎、多目的ドーム新築の声にまだ耳を傾ける姿勢だが、現下の財政悪化情報、「コロナ禍を考慮し、完全に決別するべきと思う。今からでも病院新築移転のために各種財源の発掘確保を模索し、残っている合併特例債を全て充てることは考えていないか。

答 地方公営企業会計である病院の移転新築事業について合併特例債は活用できないことを確認している。仮に将来的に病院を移転新築する場合、国県等の交付金や補助金、あるいは企業債等の活用が考えられる。

また、庁舎、多目的ドームの建設について「完全に決別すべきでないか」とのことだが、多目的ドームは事業費が大幅に増加し、維持管理等に多額の費用を要する等の理由により、今後の財政状況を踏まえ、現時点では凍結している。一方、庁舎は、建物の老朽化や庁舎が分散したことでの利便性の問題、そして、千年に一度の豪雨により、庁舎が浸水する危険性等、危機管理上の観点からも現時点で建設断念は考えていない。



さわがみ 澤上 勝 議員

コロナ禍と言う、この有事を町長・副町長の強力なリーダーシップで町民の感染対策の予防接種に全力投球して犠牲者を一人でも少なくして頂きたい

新型コロナウイルス ワクチン 接種について問う

問 ワクチン接種の実施計画方針を全議員に説明しなかった理由は。

答 接種にご協力いただく町内医療機関との協議や接種券送付作業を優先し、調整に多くの時間を要した。また、年度切り替えの時期と重なり、ようやく3月下旬に計画が完成し、町ホームページでの公開となった。限られた時間の中で職員は最善を尽くしたが、町民の皆様にはご迷惑とご負担をおかけした。現状をご理解いただき、今後ともご支援とご協力をお願いしたい。

問 コールセンター方式を選択し、少ない3回線にした理由は。また、予約受付を開始したが電話がつかない状態が毎日毎日続いて、高齢者に不安を与えたと推察するが、今後の対応は。

答 コールセンター方式の採用は国から積極的に外部委託と業務負担の軽減策を検討するよう示されていた。電話回線は、人口規模や高齢

者のインフルエンザワクチン接種率を踏まえ3回線が妥当との助言を受けた。

今後はスマートフォン等でのインターネット予約を順次整備し、速やかな接種につなげたい。

問 個別接種と集団接種の併用との説明があったが現在、個別接種しか実施されていない理由は。

答 急遽、国では接種希望者の高齢者に対し7月末までに2回目の接種を終えるよう取り組むこととしたため、町も急遽、高齢者の約千人を対象に集団接種の実施を決定した。

具体的には、7月10日と11日にワクチン接種を行い、その方々の2回目の接種日を7月31日と8月1日に決定している。



▲接種待合室

問 接種予約にあたり町内7医療機関の中から自由に選択出来るとの説明であったが現実には出来ないが。

答 希望日が予約で埋まっている場合は、コールセンターで本人の了解を得た上で、別の日を案内したり、他の医療機関を案内することもある。事前に広報紙や案内文に掲載すべきであった。

問 全町民が2回目のワクチン接種を終了する見込みはいつか。

答 国は接種期間を2月末までと定めている。接種希望する町民が、令和4年2月までに2回目の接種を終えられるよう、町内各医療機関が対応可能な範囲での個別接種及び集団接種の協力要請を行い、接種機会の確保に努めていく。

成人式の中止について問う

問 成人式は一生に一度の節目の儀式で、本人や家族も非常に楽しみにしていた。我が町を愛する子どもたちのためにも開催すべきだったと。感染対策を講じ実施している市町もある中、なぜ当町は延期せずに中止したのか。

答 成人式は本人あるいはご両親にとつては大変楽しみであることは理解しているが、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たない状況から、中止とさせていただき、2月に成人式のしおり等を送付した。

小中学校の運動会の平日開催について問う

問 家族等が楽しみにしている大事な学校行事の一つである運動会を平日開催とした理由は。また、各学校の開催状況は。

答 県内でもコロナ感染者が増える中、感染リスクの高い昼食時の対策と、野外でも大勢の方が長時間集まらないための対策を協議した。結果、原則として平日開催の午前中で終えることを申し合せしたが、各校の事情により土曜日開催や給食を挟んで午後も行つたところもあった。開催状況は、中学校3校は平日の午前中に開催したが、天候によって開始が遅れ午後までであったところがあった。

5小学校は4校が土曜日の午前中に開催し、1校だけは人数が多く午前中ではプログラムを終えられないため、1年生から4年生までは午前中、5・6年生は午後開催した。



児童・生徒を危険から守る 学校施設の安全点検方法は

ひらの 平野 としひこ 敏彦 議員

学校施設の安全点検は

問 県外で小学校防球ネット設備破損事故を受け、当町での設備緊急点検の実施状況は。また、点検により使用停止の恐れのある設備はあるか。

答 各学校の設備について、その安全を早急に点検するように指示し、安全確保に万全を期すよう要請した。また、今回の点検による使用停止等の措置を行う設備はなかった。

問 学校施設の専門業者による点検実施状況と方法は。

答 毎年、専門業者に保守点検業務委託を行い、点検結果に応じて使用禁止等の措置を行っている。

問 学校設備の安全管理記録簿の管理と、町教育委員会での管理と把握は。

答 各学校で月1回安全点検表により実施し管理している。異常があった場合、町教育委員会に報告し必要な対応を行う。



▲学校設備

青森県津波浸水区域の

見直しは

問 令和2年8月配布の町防災安全マップから、20m以上の津波浸水が想定されているが世帯と人口は。

答 横道地区が該当し、11世帯の33人となっている。

問 県が発表した24mの津波は、一川目・二川目・川口・横道町内の床上・床下浸水被害の想定把握は。

答 浸水被害の区域全体については把握していない。

問 国では津波等の危険が高い地域から住民集団移転を促すため要件(10戸から5戸以上へ引き下げ)が緩和。当町の同地域住民へアンケート調査を実施し、町の方向性を検討すべきでは。

答 東日本大震災直後に集団移転について検討したが、用地取得の難航、移転対象者の住宅取得に係る費用負担、移転跡地の利活用の課題があり、困難であると判断した。

住民の生命を災害から守るという視点では有効な制度だが、現在町が主體的に検討することは考えていない。

問 最大津波24mと想定されたことに伴う町ハザードマップ修正後の公表時期は。

答 今年度の見直し作業を実施し来年度中に公表する予定。

町の障害者雇用は

問 行政職や医療職などの専門職の障害者の雇用率は。

答 6月1日現在、障害を持つ正職員と会計年度任用職員の雇用状況は3名。いずれも一般職で実雇用率は、1.93%となっている。



問 合併以降の障害者の職員募集の実態は。

答 平成29年度から概ね40歳程度を上限とした障害者採用枠を設けて試験を実施。各年度の受験者は、いずれも合格基準に満たなかったため、採用には至っていない。また、会計年度任用職員は、2名を雇用している。

問 障害者雇用促進法で2.5%以上の法定雇用率を義務付けているが、当町は青森労働局から勧告を受けた。法定雇用率の是正に向け町長の認識を問う。

答 本年3月1日から、国、地方公共団体などの法定雇用率が2.6%に引き上げられたこともあり、これまで以上に障害者雇用に向けた取り組み強化の必要性を感じている。

昨年度の会計年度任用職員の募集時に、ハローワークと連携し、就業希望障害者への周知を実施。その結果、当町では現時点で障害者6名分の必要雇用数に対して、5名分の雇用を達成。引き続き関係機関と連携し、雇用率の達成を実現したい。



第2回議員全員協議会

5月20日(木)に開催され、3件について協議しました。
今回は2件をピックアップして掲載します。

◆新型コロナウイルス

感染症対策

【町対策本部会議】

本年度も感染拡大防止と住民の健康を念頭に対応する。

【企業等からの寄附寄贈】

温かいご支援に心よりお礼申し上げます。感染症対策等に活用させていただきます。

○第一生命保険(株) 青森支社
三沢営業オフィス
手指消毒液

○(株)あおもりソーイング
不織布製防護服200着
○おいらせ町商工会
寄附金23万円

【ワクチン接種の対応】

4月23日、新型コロナウイルスの接種券を75歳以上の約3,400人に送付。75歳以上の方にはコールセンターへの電話がつかない状態が続いた。ワクチン接種を心待ちにしている多くの町民や通常診療を行っている町内医療機関に対し多大なご迷惑をおかけしお詫びを申し上げます。今後は、接種券の送付方法やスマートフォンやパソコンを使ったインターネットでの予約システムの導入について協議・検討する。



【感染症対応事業】

感染症対応を引き続き行うため新たな事業を取りまとめた。

①感染拡大防止対応事業

小中学校の水飲み場やトイレの蛇口の交換、感染予防装備が充実したスクールバスへの更新、避難所運営に係る感染症対策の強化

②事業継続支援地域経済対策対応事業

プレミアム飲食券発行事業や農産物・水産物プレミアム販売事業に対する補助
売上げが減少している小規模事業者が感染防止対策として整備する設備・備品に対する補助
③行政オンライン化対応事業
申請書類等の押印・署名の見直し

④医療提供体制の維持対応事業

おいらせ病院感染予防対策の強化、ワクチン接種を実施する町内医療機関へ協力を支給

【質疑・意見等】

問 澤上勝議員 小中学校以外の公共施設の蛇口交換をしない理由は。

答 公民館など施設が多いため見合わせており、手指消毒液で対応していきたい。

問 松林義光議員 スクールバス更新のスケジュールは。

答 6月に入札し、納入まで4、5ヶ月かかり、早ければ冬休み前後となる見込み。

◆町震災復興計画実績報告

【趣旨】東日本大震災による被災地の復興並びに住民生活の再建及び安定に関する施策を速やかに、かつ、計画的に実施するため、おいらせ町震災復興本部を平成23年5月に設置。平成24年1月に作成した当計画は平成30年度末をもって計画期間が終了した。この度実績を取りまとめ、報告書が完成した。

【計画概要】町全域を対象区域とし、第1次町総合計画の将来像「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれる町」のもと、復興理念を「家族・地域の絆を深め、減災を目指した安全・安心のまち」とした。

【計画実績】92事業全て実施し、要望は1つが未実施。

震災を教訓に、大災害に見舞われても被害を最小限に食い止めるための取り組みが必要であり、計画期間は終了したが、引き続き災害対策を講じていく。

◎報告書は5月1日から町ホームページで公表中



「ぎかいだより懸橋」に

表紙写真をお寄せください

町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

送付先 おいらせ町議会事務局 議会広報係

電話 0178-56-2111 (代表)

メール gikai@town.oirase.aomori.jp

第3回定例会のお知らせ

令和3年9月2日(木)午前 10時から
おいらせ町議会では、
みなさんの傍聴をお待ちしています。
傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

●問い合わせ 議会事務局 (本庁舎3階)

●電話 0178 (56) 2112

編集後記

水田に映る晴天が清々しい今日この頃、当町でも30度に迫る暑い日が続き、夏もすぐそこまで来ているようです。

いよいよ、75歳以上の方から段階的に、新型コロナウイルススワクチン接種が始まりました。円滑かつ迅速に接種が進むよう、また、町民が一日も早く安心して暮らせるようにと努めてまいります。

さて、6月11日には、百石高校から木内々小学校までの区間を聖火ランナーが走り、オリンピックの聖火がつかれました。東京オリンピック聖火リレーのコンセプトは「希望の道をつなごう」

我慢の毎日が希望にながっていくことを切に願います。

広報委員 田中 正一

